

## メイガ類

メイガ類										活動時期		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	

一般家庭から相談がよせられることが多い貯蔵食品害虫の代表種のが類です。

メイガ類の中でも以下の3種による被害が大部分を占めます。

- ノシメダラメイガ
- スジマダラメイガ
- スジコナマダラメイガ

成虫は体長約 20mm のが類で、壁などにとまる時に翅が山型に見えるのがノシメダラメイガです。翅には鱗粉(りんぷん)がついています。成虫は明るい場所をきらう性質をもっています。

銀色の成虫が多数飛ぶ姿を目撃したり、糸を吐く淡黄色の幼虫がいた場合は、一度、保管中の食品を点検してみましよう。

被害にあった食品中からは、幼虫や幼虫が吐いた糸や糞が多数みられます。(ノシメダラメイガの糞は赤褐色をしています。)

### 被害を受けやすい食品

穀類、米麦粉、大豆、乾燥果実、ナッツ類、チョコレート、菓子類など広範囲(こうはんい)にわたります。

### 予防対策

幼虫のモノを齧(かじ)る力が大変強く、ビニール袋内に入れた状態の食品では簡単に中に入入をすることができます。

食品を保管する場合は、密封性の高い容器を使用しましょう。

害虫の被害にあった食品は、すぐに廃棄(はいき)しましょう。また、日頃から食品クズを、こぼしたままにしないように、こまめな清掃をおこないましょう。



成虫

左 : スジマダラメイガ

右 : ノシメダラメイガ



幼虫および被害にあった黒米

(齧られた部位が白色になっている)



ノシメダラメイガ幼虫

体長 : 約 10mm

## 生態

スジマダラメイガは年3から4回、ノシメマダラメイガは年5回の発生します。

餌の種類により、発育の早さがちがいます。

越冬は、幼虫でおこない、4月までは羽化はしません。しかし、暖かい室内では羽化することがあります。



スジマダラメイガ幼虫

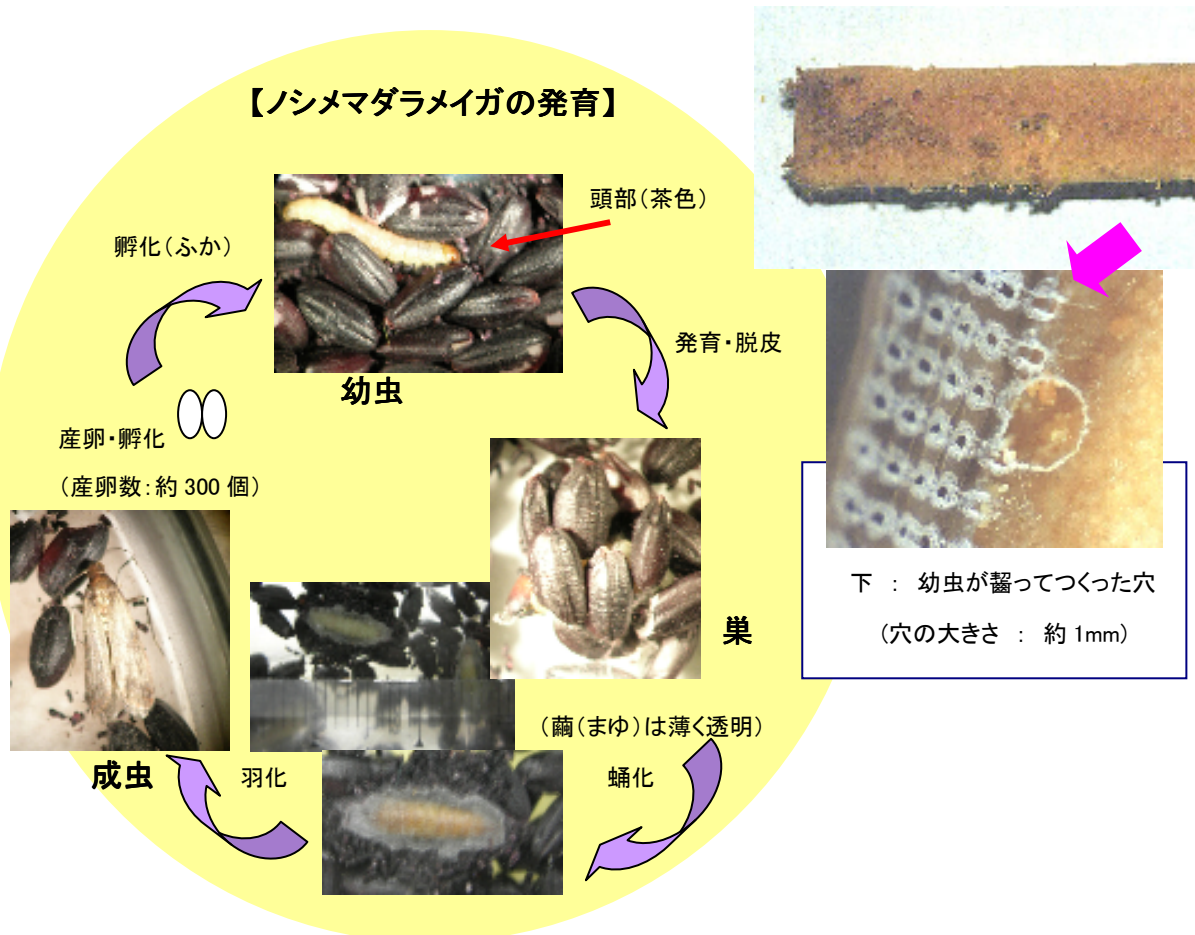
体長：約14mm

刺毛の基部に褐色の硬皮板がある

### ■ 耐熱性耐寒性

60℃、5分間以上の環境下では死亡しますが、耐寒性が強く、-1℃で90日、-7℃で8日、-15℃で1日が死滅するのにかかります。

### 【ノシメマダラメイガの発育】

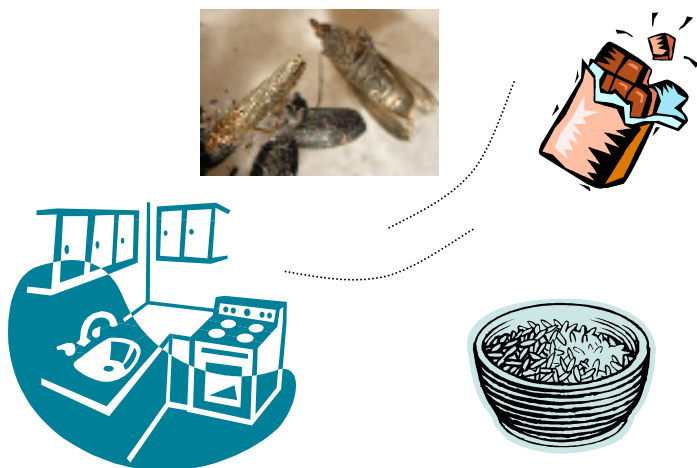


### ■ 産卵場所

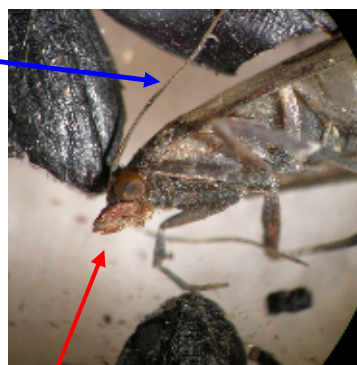
餌となる食品以外にも産卵をおこないます。ガラス、プラスチック、紙などの、平らな所よりも、しわのある部分が好まれます。

## 寄せられたケース

- 台所に糸をはく幼虫がいる
- 風呂場に幼虫がいる
- 大量の小さい蛾が室内を飛ぶ
- 保存していた貯蔵食品中に幼虫がたくさんいる



触覚



下唇髭

ノシメマダラメイガ成虫の  
頭部拡大写真

(注: 周囲にある物体は黒米)

- ・口に相当する部位には特徴的な下唇髭をもつ

## ■ 貯蔵食品害虫たち

### <ガ類と甲虫類の幼虫の違い>

蛾の幼虫は腹部に脚をもっていますが、甲虫類幼虫(コクゾウムシなど)には腹部に脚(腹脚)はありません。また、糸を吐く習性もありません。



小さい突起様の構造が腹脚



甲虫類幼虫

### <参考文献>

1. 松崎沙和子、武衛和夫 著 : 都市害虫(1993)
2. 山梨県福祉保健部衛生薬務課 衛生公害研究所:身のまわりの虫たち(2001)